

琉球大学学術リポジトリ

在沖フィリピン人女性のアイデンティティと沖比国
際結婚夫婦間コミュニケーションに関する研究：
社会的構築主義の視点から

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2017-03-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲里, 和花, Nakazato, Kazuka メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/33726 |

様式第7号

学 位 論 文 要 旨

学位論文題目

在沖フィリピン人女性のアイデンティティと
沖比国際結婚夫婦間コミュニケーションに関する研究
－社会的構築主義の視点から－

琉球大学大学院
人文社会科学研究科

比較地域文化専攻

学生番号 128094F

氏 名 仲里 和花

学位論文要旨（横書き楷書、ワープロ可、字数800字程度）

本論文の目的は、在沖フィリピン人女性のアイデンティティと沖比国際結婚夫婦間コミュニケーションの問題を社会的構築主義の視点から考察することである。社会的構築主義では、言語行為を社会の権力関係やイデオロギーを作り上げ、さらにアイデンティティや人間関係を作り上げる社会的行為とみなす。本論文では、社会的構築主義の視点から、第一に、在沖フィリピン人女性が状況に応じ、複数言語を使いこなすことによって、「日本語アイデンティティ」「英語アイデンティティ」「タガログ語・地方語アイデンティティ」などの多元的アイデンティティを構築していく過程を彼女達の事例を基に考察していく。第二に、在沖フィリピン人女性が沖縄人夫との間に抱える葛藤課題やその調整過程を分析することによって、彼女達が言語行為を通して、沖縄人夫との夫婦関係をいかに構築しているかを考察する。例えば、上手くいっている夫婦と上手くいっていない夫婦ではコミュニケーション・パターンに違いが見られ、前者は対称性的言語行為による平等な夫婦関係を構築する一方で、後者は非対称性的言語行為による不平等な夫婦関係を構築する傾向があった。言語行為によって夫婦関係が構築されていく過程を彼女達の事例を通して見ていく。第三に、在沖フィリピン人女性のジェンダー観が沖縄人夫とのコミュニケーションに与える影響や、ジェンダー観の違いによる言語態度が沖縄人夫とフィリピン人妻の力関係の構築に与える影響を考察する。結論として、言語が在沖フィリピン人女性のアイデンティティ構築や沖縄人夫との夫婦関係構築に重要な役割を果たしていることを議論し、今後、在沖フィリピン人女性が調和のとれたアイデンティティを構築し、建設的な夫婦関係を構築していく上で、ホスト社会が言語を通して、どのようにサポートしていくことができるのかを提案していく。